

この度、あしぎん景気動向調査(第 126 回あしぎん景況調査、第 65 回県内産業景気動向調査)の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. あしぎん景況調査のポイント

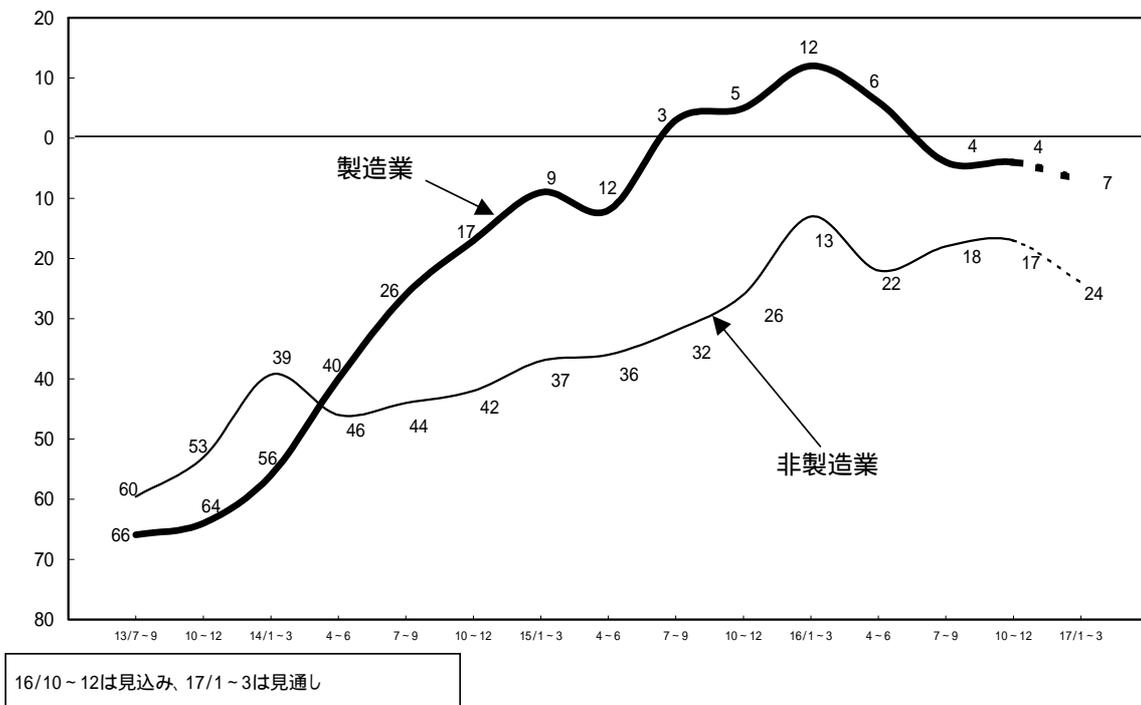
企業の景況感は、製造業、非製造業ともに回復のテンポが鈍化し横ばいとなっている。

今期(16年10~12月期)の業況判断D.I.値は、製造業が 4、非製造業が 17となった。前期(16年7~9月期)に比べ、製造業は同ポイントとなり、非製造業は1ポイント改善した。

来期(17年1~3月期)は今期に比べ、製造業が3ポイント、非製造業が7ポイントそれぞれ悪化する見通しである。

製造業では、業況判断D.I.値が生産の減少などを背景に2四半期連続で悪化企業超となるなど、回復のテンポが鈍化し頭打ちの傾向が明確化しつつある。一方、非製造業では、個人消費など需要面に回復の力強さがみられず、概ね横ばいとなっている。

業況判断D.I.値



本件に関するお問い合わせ先 : 融資本部 伊藤 028-626-0443

2. 県内産業景気動向調査のポイント

企業の景況感は、製造業、非製造業ともに回復のテンポが鈍化し横ばいとなっている。

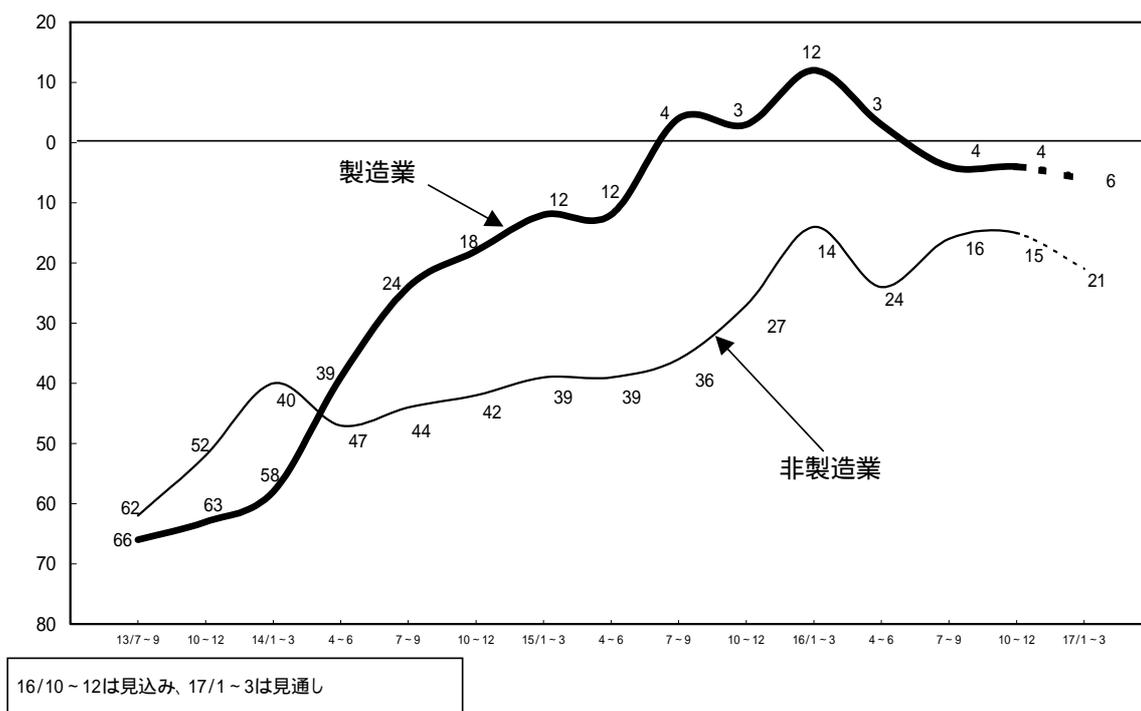
今期（16年10～12月期）の業況判断D.I.値は、製造業が4、非製造業が15となった。前期（16年7～9月期）に比べ、製造業は同ポイントとなり、非製造業は1ポイント改善した。

来期（17年1～3月期）は今期に比べ、製造業が2ポイント、非製造業が6ポイントそれぞれ悪化する見通しとなるなど、先行きに対する不透明感が増している。

製造業では、生産の減少や原材料価格の上昇などを背景に回復のテンポが弱まり横ばいとなっている。

一方、非製造業では、緩やかな回復基調を維持しているものの、個人消費など需要面に力強さがみられず、足踏み状態となっている。

業況判断D.I.値



3. 概要

(1) あしぎん景況調査

製造業

ア) 業況

業況判断D.I.値の今期見込みは前期実績と同ポイントの 4 となった。業種別にみると、繊維品、窯業・土石など7業種が改善し、紙・パルプなど6業種が悪化した。

イ) 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは 10 と前期実績を6ポイント下回った。業種別にみると、化学品など4業種で改善したものの、木材・木製品など9業種で悪化した。

ウ) 設備投資

実施企業割合の今期見込みは71%と前期実績を2ポイント下回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは42と前期実績を12ポイント上回った。

非製造業

ア) 業況

業況判断D.I.値の今期見込みは 17 と前期実績を1ポイント上回った。業種別にみると、卸売、サービスが悪化したものの、建設、小売は改善した。

イ) 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは前期実績と同ポイントの 14 となった。業種別にみると、卸売、建設、サービスが改善し、運輸、小売は悪化した。

ウ) 設備投資

実施企業割合の今期見込みは57%と前期実績を2ポイント上回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは35と前期実績を3ポイント上回った。

(2) 県内産業景気動向調査

製造業

ア) 業況

業況判断D.I.値の今期見込みは前期実績と同ポイントの 4 となった。業種別にみると、電気機械、化学品など6業種が改善し、紙・パルプなど7業種が悪化した。

イ) 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは 13 と前期実績を5ポイント下回った。主要業種別にみると、化学品などは改善したものの、輸送用機械などは悪化した。

ウ) 設備投資

実施企業割合の今期見込みは73%と前期実績を4ポイント下回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは44と前期実績を10ポイント上回った。

非製造業

ア) 業況

業況判断D.I.値の今期見込みは 15 と前期実績を1ポイント上回った。業種別にみると、卸売が悪化したものの、小売は改善した。

イ) 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは 14 と前期実績を2ポイント上回った。業種別にみると、建設、運輸が悪化したものの、卸売、サービス、小売は改善した。

ウ) 設備投資

実施企業割合の今期見込みは60%と前期実績を4ポイント上回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは30と前期実績を1ポイント下回った。